

大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 を大学院総合科学研究部に改組

2016年(平成28)4月

2006(平成18)年に大学院重点化の流れの中で設置された大学院ソシオアーツ・アンド・サイエンス研究部は、創生科学研究部門と基礎科学研究部門からなり、それぞれ3つの分野に分けられ、全ての教員が総合科学部の教員を併任し、一部が大学院総合科学教育部の教育を担当する、文系と理系の広い分野の教育を行う研究部であった。また、全学共通教育を中心的に担う教員が所属する組織でもあったが、2016(平成28)年に大学院理工学研究部と大学院生物資源産業学研究部が設置されたときに、大学院総合科学研究部に改組された。新たに設置された大学院総合科学研究部は、前身のソシオアーツ・アンド・サイエンス研究部の中の文系教員と、教養教育院の教員、国際センターや教職教育セン

ター、埋蔵文化財調査室などの各種センターの教育を担当する教員によって構成される部局となった。その結果、人文科学・人間科学・社会科学・地域科学・情報科学を専門とする教員が所属する総合的な研究部として発足した。学部組織以外のセンターなども所属する部局となったこの研究部に所属する教員は、公開講座などの生涯教育を始め、留学生の教育、地域連携を進める活動、教養教育の担当など多面的に活動した。一つの研究部に所属していることから、部局を超えて協働し、地域創生総合科学や教養教育、生涯教育、国際交流、高等教育、埋蔵文化財調査や県内の文化財保護等に関わる教育研究活動を通じて、社会の発展に寄与する活動を行った。

